RE:NISSAN

2026年度上期 決算報告

2026年11月11日



Re:Nissan の進捗



2026年度上期：主要市場で販売拡大
厳しい中国市場

RE:NISSAN

主要市場での成長



米国

小売販売が伸長し、
シェアが拡大



日本

新型車と上級グレードが
好調

**新型車の投入と小売に集中する販売戦略
の実行により勢いを創出**

中国

- 全需の低迷と当初想定を上回る
  スピードでの新エネルギー車(NEV)
  シフト
- 競争激化による販売減

**戦略の方向性は維持し
変化に迅速に対応しながら実行を加速**

米国：堅調な小売販売と事業の質の改善

RE:NISSAN

469k
上期累計

+5.5%
前年同期比



戦略の加速

- 「米国生産・米国販売」と小売販売重視の戦略が奏功

商品の勢い

- 販売台数(前年同期比)：ローグ+31%、フロンティア+36%、パスファインダー+12%
- 新型「ローグ ハイブリッド」搭載のe-POWERが、米ワーズ社「10ベストエンジン＆推進システム」に選出

商品ミックスの改善

- 価格改定と上級グレード比率の増加により売り上げが向上

日本：新型車投入とお客さまからの高い評価

RE:NISSAN

197k
上期累計

+6.3%
前年同期比



需要の拡大

- エルグランドは累計受注１万1,000台*
- キックスは累計受注2万台*

* 2026年10月末現在

商品ミックスの改善

- 上級グレードの需要が増加

市場での評価

- エルグランド：日本自動車殿堂カーオブザイヤー受賞
- リーフ：日本自動車殿堂カーデザインオブザイヤー受賞
- エルグランド&キックス：日本カー・オブ・ザ・イヤー「10ベストカー」選出

中国：戦略を堅持し、市場の変化に迅速に対応

RE:NISSAN

-22%
上期全需
前年同期比

-15%
上期日産販売台数
前年同期比



全需の縮小

- 7月から10月にかけても縮小が続き、
  日産の販売にも影響

事業の適正化

- ICE車の生産と販売店の在庫を適正化するなど、
  迅速に対応策を実施

NEV戦略の加速

- お客さまのニーズにあわせNEVラインナップを強化

輸出の拡大

- 「フロンティア プロ/ナバラ プロ」
  「N7/プリメーラEV」の輸出を開始

*中国小売販売台数は暦年ベース

着実なコスト改善

RE:NISSAN

1,100 億円

上期の
コスト削減効果

全社的な取り組みを継続し、効率化を推進

固定費
- 費用管理を徹底し、継続して削減効果を創出

変動費
- 施策の実行が進み、下期にはさらなる効果を期待



▼ **3,650 億円**

Re:Nissan 開始からの
累計削減効果

新たな事業計画

長期ビジョンを、具体的な戦略とアクションへ

注力する領域

日産ならではの価値を生み出す領域

実現へのアプローチ

競争力を高め、成果につなげる

目指す姿

持続的な成長、収益性の向上、キャッシュ創出への道筋



2027年2月発表予定

本資料に記載されている将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいており、リスクと不確実性を含んでいます。従いまして、今後の当社グループの事業領域を取り巻く経済情勢、市場の動向、為替の変動等により、実際の業績がこれらの記述と大きく異なる可能性があることをご承知おきください。